

4 専修学校（専門課程）

(1) 表6に示すとおり、平成26年3月卒業者のうちの就職者総数は1,376人で、前年より36人減少している。そのうち県内に就職した者は968人で、前年より30人減少している。県内就職率は70.3%で、前年より0.4ポイント低下している。

県内就職率を専門分野別でみると、文化・教養学科を除きいずれも60%を超える高い率になっている。

3ページ表3で示したとおり、県外就職者は408人で、前年より6人減少している。県外就職の状況を就職先地方別でみると、九州・沖縄249人(61.0%)、関東82人(20.1%)、近畿43人(10.5%)、中国16人(3.9%)の順となっている。

進学者総数は50人で、前年より6人増加している。県内進学率は72.0%で、前年より9.8ポイント低下している。

表6 専門分野別進路状況（専修学校〔専門課程〕）

（単位：人、％）

区 分	総 数		工 業		農 業		医 療		衛 生	
	26年3月	25年3月	26年3月	25年3月	26年3月	25年3月	26年3月	25年3月	26年3月	25年3月
卒業生総数	1,510	1,553	202	244	44	41	851	839	170	173
就職者総数	1,376	1,412	192	226	40	40	798	786	162	163
就職率	91.1	90.9	95.0	92.6	90.9	97.6	93.8	93.7	95.3	94.2
うち県内就職者	968	998	145	165	37	38	512	507	130	137
県内就職率	70.3	70.7	75.5	73.0	92.5	95.0	64.2	64.5	80.2	84.0
進学者総数	50	44	3	2	1	-	16	10	-	-
進学率	3.3	2.8	1.5	0.8	2.3	-	1.9	1.2	-	-
うち県内進学者	36	36	3	2	1	-	8	5	-	-
県内進学率	72.0	81.8	100.0	100.0	100.0	-	50.0	50.0	-	-
一時的な仕事に就いた者	8	35	1	6	-	-	-	2	-	4
一時的な仕事に就いた者の率	0.5	2.3	0.5	2.5	-	-	-	0.2	-	2.3
うち県内居住者	8	19	1	6	-	-	-	2	-	4
県内居住率	100.0	54.3	100.0	100.0	-	-	-	100.0	-	100.0
その他総数	76	62	6	10	3	1	37	41	8	6
その他の率	5.0	4.0	3.0	4.1	6.8	2.4	4.3	4.9	4.7	3.5
うち県内居住者	60	34	6	10	2	1	28	14	8	5
県内居住率	78.9	54.8	100.0	100.0	66.7	100.0	75.7	34.1	100.0	83.3

つづき

区 分	教育・社会福祉		商業実務		服飾・家政		文化・教養	
	26年3月	25年3月	26年3月	25年3月	26年3月	25年3月	26年3月	25年3月
卒業生総数	86	90	63	49	12	26	82	91
就職者総数	72	78	57	45	2	15	53	59
就職率	83.7	86.7	90.5	91.8	16.7	57.7	64.6	64.8
うち県内就職者	68	73	56	44	2	15	18	19
県内就職率	94.4	93.6	98.2	97.8	100.0	100.0	34.0	32.2
進学者総数	6	12	-	-	1	-	23	20
進学率	7.0	13.3	-	-	8.3	-	28.0	22.0
うち県内進学者	6	11	-	-	1	-	17	18
県内進学率	100.0	91.7	-	-	100.0	-	73.9	90.0
一時的な仕事に就いた者	-	-	2	-	4	11	1	12
一時的な仕事に就いた者の率	-	-	3.2	-	33.3	42.3	1.2	13.2
うち県内居住者	-	-	2	-	4	-	1	7
県内居住率	-	-	100.0	-	100.0	-	100.0	58.3
その他総数	8	-	4	4	5	-	5	-
その他の率	9.3	-	6.3	8.2	41.7	-	6.1	-
うち県内居住者	7	-	4	4	3	-	2	-
県内居住率	87.5	-	100.0	100.0	60.0	-	40.0	-

(2) 図8に示すとおり、平成26年3月卒業者のうち就職者の産業別就職状況をみると、医療、福祉が956人(69.5%、前年に比べ2.2ポイント上昇)で最も多く、次いで生活関連サービス業、娯楽業122人(8.9%、同0.9ポイント上昇)、情報通信業73人(5.3%、同2.6ポイント低下)の順となっている。

県内就職者を産業別でみると、図9に示すとおり、医療、福祉が667人(68.9%、前年に比べ2.4ポイント上昇)で最も多く、次いで生活関連サービス業、娯楽業93人(9.6%、同0.6ポイント上昇)、宿泊業、飲食サービス業41人(4.2%、同0.4ポイント低下)の順となっている。

図8 産業別就職状況の推移(専修学校〔専門課程〕)

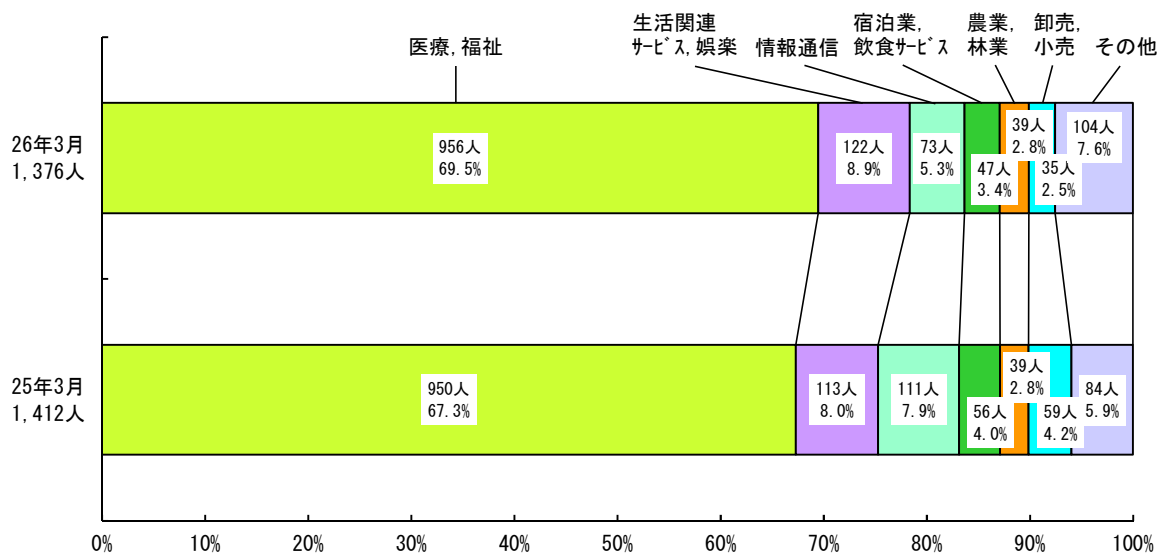


図9 産業別県内就職状況の推移(専修学校〔専門課程〕)

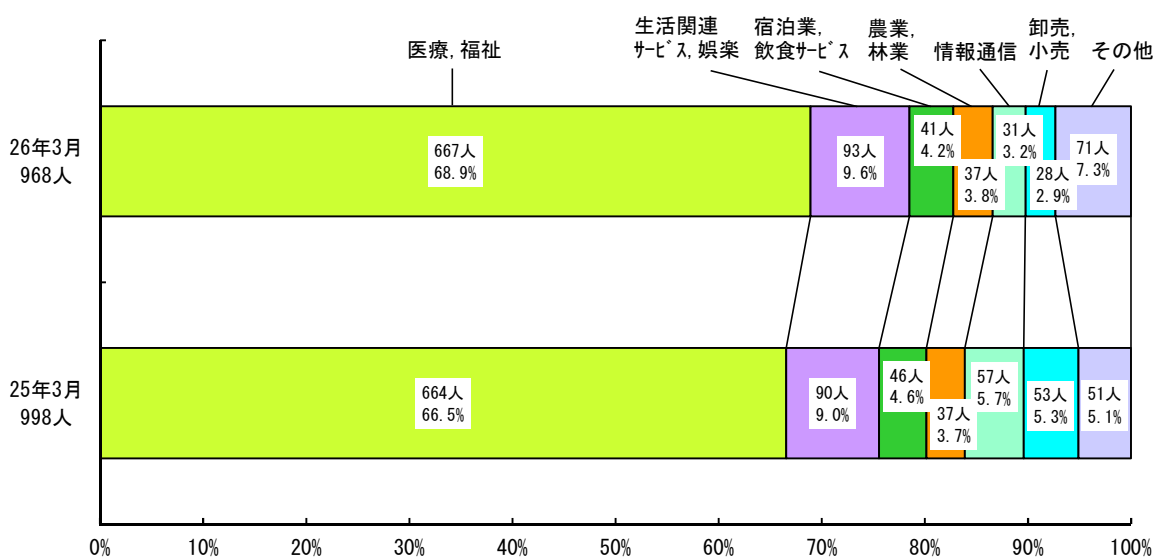


表3 県外就職者の就職先地方別状況

(単位：人、%)

区 分	県外 就職者数	県 外 就 職 者 の 内 訳							
		九州 ・ 沖縄	四国	中国	近畿	中部	関東	北海道 ・ 東北	その他
大学	1,531	512	37	86	174	78	535	10	99
構成比		33.4	2.4	5.6	11.4	5.1	34.9	0.7	6.5
短期大学・ 高等専門学校	178	82	7	7	18	7	54	2	1
構成比		46.1	3.9	3.9	10.1	3.9	30.3	1.1	0.6
専修学校 (専門課程)	408	249	9	16	43	6	82	-	3
構成比		61.0	2.2	3.9	10.5	1.5	20.1	-	0.7
高等学校	599	246	-	35	96	84	126	2	10
構成比		41.1	-	5.8	16.0	14.0	21.0	0.3	1.7
合計	2,716	1,089	53	144	331	175	797	14	113
構成比		40.1	2.0	5.3	12.2	6.4	29.3	0.5	4.2

注) 端数処理の関係で、各地方の構成比を合計しても100にならない場合がある。